

事務事業名 保育所施設整備事業補助金		所属部 子ども政策局	所属課 子ども政策課	
総合計画体系的	政策名 (Ⅲ) 支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》	所属G 総務政策グループ	課長名 狩野 明芳	
	施策名 (26) 子育て支援の充実	担当者名 南波真二	電話番号 0854-40-1044 (内線) 2252	
	目的 対 子どもの保護者と産み育てたい 意図 安心して子育てができる。	予算科目 会計 款 大事業 大事業 0 1 1 5 0 1 項 目 中事業 中事業 1 0 2 0 7 7	私立保育所総務管理事業	
	基本事業名 (076) 地域における子育て支援の充実		保育所施設整備事業補助金	
目的 対 保護者・地域 意図 地域で子育てを支える環境がある。				

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
高まり続ける保育需要に対応するため、待機児童対策の一環として市内の社会福祉法人が整備する保育所施設の建設経費を補助する。
対象法人 社会福祉法人愛耕福祉会 対象事業 (仮称)南加茂保育園整備事業 補助金額 235,359千円 補助内訳 国:135,870千円 市:99,489千円 整備費用 336,706千円

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	29年度実績(29年度に行った主な活動) ・補助金申請の審査、決定、交付 ・整備及び開園に係る指導及び監督等 ・財源の確保	30年度計画(30年度に計画する主な活動) 単年度事業であり、次年度以降の計画は現時点ない。				
	財源 保育所等整備交付金 135,870千円 合併特例債 94,500千円					
	② 活動指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	ア 定員(2、3号児計)	人	1,060	1,165	1,190	1,240
	イ 待機児童数(10/1)	人	18	14	17	5
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	保育を必要とする就学前児童及び保護者	ア 18歳までの子どもを持つ世帯数	世帯	3,258	3,180	3,094	2,918
		イ					
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	安心して子どもを預けることができるようになる。	ア 子育てしやすい環境だと感じる保護者の割合(行政サービスの)	%	65.9	71.2	79.2	67.0
		イ					
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
補助金 235,359千円	財源内訳	千円	64,275		135,870	
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円	23,100		94,500	
	その他	千円				
	一般財源	千円	1,313		4,989	
	事業費計(A)	千円	88,688		235,359	
	人件費	人	1		1	
	正規職員従事人数	時間	100		427	
	延べ業務時間	千円	391		1,741	
	人件費計(B)	千円	89,079		237,100	
	トータルコスト(A)+(B)	千円				

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
近年、保護者の就労形態及び核家族化等の変化により保育希望者が増加し、雲南市においても待機児童が発生している状況にある。	単年度事業であるため特記事項なし	現時点では、新たな事業実施予定はない。

事務事業名	保育所施設整備事業補助金	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課
-------	--------------	-----	--------	-----	--------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由 当事業は社会福祉法人等が行う保育所施設整備費用の一部を補助する事業であり、その事業内容の決定は実施法人に委ねられる。また、その補助基準及び金額は、国交付基準及び市規則等に基づき交付している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
D 公平性	<input type="checkbox"/> 影響無	理由 社会福祉法人等による保育所等の整備が衰退し、市内の子育て環境の充実が図れなくなる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	理由 類似事業がないため	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる (具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 当事業は社会福祉法人等が行う保育所施設整備費用の一部を補助する事業であり、その事業内容の決定は実施法人に委ねられる。また、その補助基準及び金額は、国交付基準に基づき交付している。また、市補助額(割合)の削減は、既済事業との公平性を欠くこととなる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 必要最低限の事務を行っている状況であり、削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 本事業実施に当たり、市内認可保育所運営事業者のすべてへヒアリングを行った結果、事業実施可と判断したのは実施法人のみであった。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 新たな施設整備は、確実な保育供給量の拡大につながり、待機児童の解消及び子育て環境の向上に直結する。
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持		×																		
	低下	×	×																		
今後も別の事業要望があり、事業実施が有利であると判断した場合は、引き続き現行どおり実施することとした。		廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																			